



湘北短期大学図書館
としよかんNEWS

vol.131

2019.5.10 発行

新入生は入学してひと月が過ぎましたが、新しい生活・環境には慣れましたか？図書館は、学生のみなさんにとって、居心地のよい空間になるよう館内を一部リニューアルしました。そして、今年度も楽しいイベントやワークショップをたくさん企画していきます。Twitter で随時、お知らせしますので、ぜひ、フォローをお願いします。 [こちら](#)



特集：図書館の授賞式 2018 開催しました

図書館には、自分が本とどれくらいの関わりをもてたのか、励みや目安となる「多読賞」と「読書ノート大賞」の二つの賞があります。2018年度は、2019年1月17日（水）、2月16日（金）の「学長と祝う誕生会」で、学長より受賞者（当日の出席者 24名）へ賞状授与が行われました。



その1：多読賞 2018

2018年度、図書館でたくさん本を借りた人をランキング形式で発表し、多読賞を授与しました。多読賞を受賞された方には、副賞として湘北ポイントと図書1冊、視聴覚資料1点をリクエストする権利が付与されました。現在、リクエストされた本やDVDの展示コーナーを設置しています。読書好きな方たちが選んだ本は面白いこと間違いなし！ぜひ、見に来てください。

総合ビジネス・情報学科1年 1位 IMさん 33冊	生活7.0ニュース学科1年 1位 YAさん 51冊	保育学科1年 1位 UAさん 50冊	教員 1位 TYさん 283冊
総合ビジネス・情報学科2年 1位 SEさん 36冊	生活7.0ニュース学科2年 1位 HMさん 40冊	保育学科2年 1位 ISさん 116冊	職員 1位 YHさん 109冊


その2：読書ノート大賞 2018

毎年、4月～12月に寄せられた読書ノートの中から、文学・実用書・絵本の3部門、6名を選出し、優秀賞が贈られました。2018年度は、読書ノートキャンペーンも盛況で、参加学生105名、提出された読書ノートは1,604冊分に上りました。

【文学部門 18B・YHさん】

食欲をそそる料理の描写と胃がひっくりかえるようなグロテスク描写が交互に襲ってきます。他ではできない読書体験です。登場人物がいちいちカッコイイ！ノワール作品が好きの人にオススメです。漫画化もされたので、そちらから読んでもいいと思います。実写映画化もされます。

『DINER **ダイナー**』




平山夢明 著
ポプラ社
2012
【文庫/ひ】

【文学部門 18L・TYさん】

人にはみんなそれぞれ個性があって、それぞれが助けあっていることが伝わってくる本でした。1人1人のコンプレックスが視点で描かれていて、自分のコンプレックスと重ねてしまいました。この本を読むと前向きに、今を楽しもうと思えます。

『か「く」「し」「こ」と「』』




住野よる 著
新潮社
2017
【913.6/ス】

【文学部門 17B・SEさん】

大学のとある1年生に薦められた本。誰にでも理解できるし、自己肯定させてくれる意味も含め、とても「やさしい本」だと思いました。無理しすぎず、頑張ろうと思えるから今回だけで終わらせないで、社会人になってからも時々読み返したいと思っています。

『そのままがいい：100万いいね！を集めた176の言葉』



田口久人 著
ティスカヴァー・トゥエンティワン
2017
【911.5/7】

用紙も新たに、今年度も「読書ノート」は始まっています！

こんな効果もあるよ



書名 読書のススメ！

著者名 湘北花子

出版社 ソニー出版

用紙
みほん

本を読んだ後には、読む前にはなかった新しい何かが、頭の中や心の片隅に蓄えられます。本を読むことによって何かを感じたり、考えさせられたりと、読む人の内面を充実させてくれます。そんな本の良さが伝わる一冊でした。

● 読書ノートのススメ

- ・読み返し、日々意識することで、アウトプットにつながる
- ・読書という体験を目に見えるかたちで残しておくことができる
- ・書くという行為で、自分の考えを整理できる
- ・本で読んだことを、しっかりと自分の中に落としこむ

● 読書ノートを書くコツ

- ・自分にとって大切なことや感動した点に注目
- ・自分にとって役立つ知恵や言葉に注目
- ・心に残る言葉、セリフに注目
- ・何故そう思ったのか、感じたのか考えてみる

書く内容に困ったら？



読書ノートをほじめてみよう！



読書ノートとは、読んだ本の要点や感想を記録するためのノートです。そんなことをして何の意味があるの？なんて思うかもしれませんね。読書って読んだその時は、「これはスゴイ！使える！」と感じていても、次の日にはすっかり忘れてしまう…なんてことはありませんか？せっかく時間をかけて本を読んでも“読みっぱなし”ではもったいないです。読書ノートは、この“読みっぱなし”を自分のスキルアップに活用できる画期的なアイテムなのです。そして、読書ノートに記録し、読み返すことで、生涯にわたり役に立ち、読んだ本全てがあなたの財産になります。

「読書感想文」のような、しっかりした文章、長文、気取った言葉でなくて構いません。自分がどう感じ、どう思ったのか、素直に書いてみてください。

春の読書ノートキャンペーン開催中 5月7日(火) → 5月31日(金)

読書ノートの用紙は
④A5サイズに合わせた



湘北ポイントと
クリアファイルもゲット！



連載

Relay Essay No.47

「横須賀や呉の近くに暮らして思うこと」 総合ビジネス・情報学科 大塚 敬義

料理のレシピ本でありながらも、日本が明治時代以降の近代化の過程においてたどってきた糧食の西洋化について記した『海軍さんの料理帖 明治～昭和まで歴史で辿る日本海軍レシピ46品』を紹介します。

私が8年間暮らしていた前々任地である広島県には旧海軍の呉鎮守府が置かれた歴史があります。現在でも港外には、海上自衛隊の各艦艇の厨房で調理される献立を供する飲食店が建ち並んでいます。

一言にカレーといっても、艦ごとにルーの風味や食材が多岐にわたり、どれひとつ同一のものがないことに驚かされます。当該書籍には眺めているだけでも楽しいカラー写真が満載で、かつ旧海軍には甘味だけを専門に調理製造し、前線へ補給する「間宮」（まみや）という後方任務の給糧艦まで存在したことも大まじめに記されています。現代風にいえば「インスタ映えする」見栄えの良い写真のみかと思えば、他方では非常に質素な病人食も扱っており、アニメ調の装丁の表紙

からは想像しがたい歴史資料としての性質も帯びています。

個人的に感じ入った箇所は、潜水艦の厨房といっても、日本とドイツではまるで事情が異なる点です。密閉され、ただでさえ湿度が高い艦内で、日本側はコメを炊飯する際にどうしても蒸気が出るので、ますます艦内の居住性が悪化し、食欲減退に拍車がかかってしまうのに対し、ドイツ側ではパンが主食なので調理時に日本側ほどは湿度が高くならなかったという逸話です。電器店で売っている、炊飯時に発生する蒸気をできるだけ器具の内部に封印し、なおかつコメを日本人好みに美味しく仕上げる「蒸気レス炊飯器」を目にすると、前述の潜水艦の逸話を思い出し、「1台買ってみようか」と感じます。



『海軍さんの料理帖 明治～昭和まで 歴史で辿る日本海軍レシピ46品』

有馬 恒次郎 著／ホビージャパン／2017